

SAMPLE

特集レポート No. 005

海外における加工食品の最新事例

Strictly Confidential

 Info Mart Corporation

2017年 6月28日

はじめに

- 日本の加工食品業界におけるイノベーションはその特性上、「グルタミン酸ナトリウム」、「カップ麺」など一部に成功事例はあるものの、大きなインパクトのあるアイデアが生まれにくいと考えられてきた。しかしながら、グローバルに目を向けると、違った様相が見える
- アメリカのスタートアップの聖地であるシリコンバレーで近年注目されているのが「加工食品」である。その背景には、先進国における食の嗜好・ニーズの多様化、途上国における栄養不足問題の深刻化などがあり、スタートアップは変化する社会情勢に目をつけて盛んに事業を興している
- 本レポートでは、海外の加工食品の先端事例を紹介し、加工食品業界で起こりつつあるイノベーションの一端に触れることとする

本資料の流れ



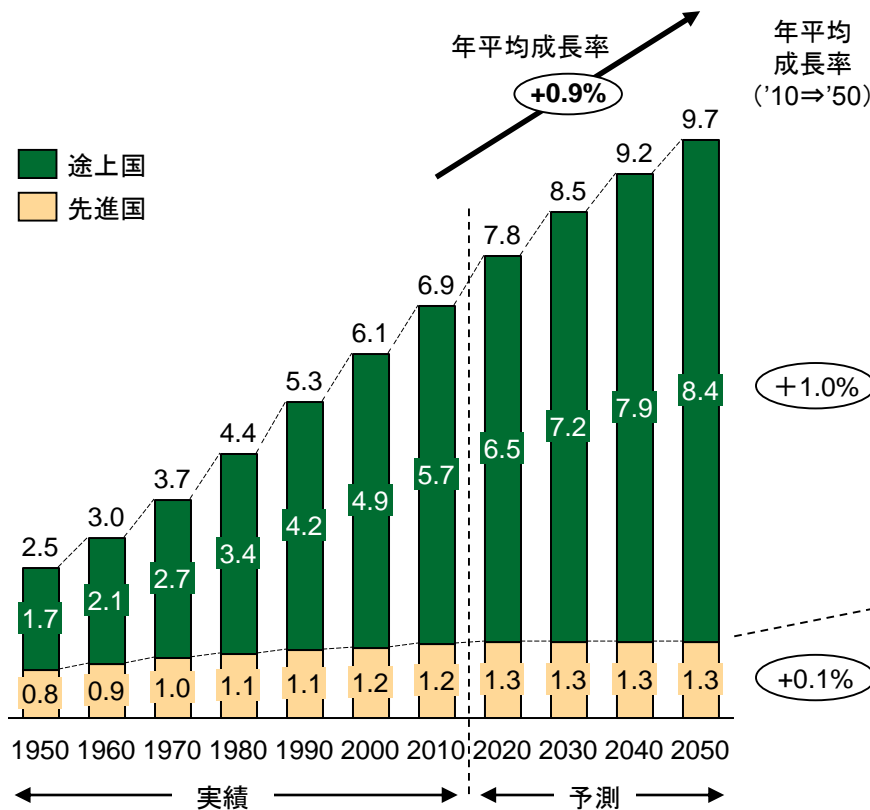
- I. 海外の加工食品ビジネスの現状
- II. 海外先進事例の紹介

海外加工食品業界を取り巻く現状

- 世界人口の急拡大にともない開発途上国を中心に食糧不安が発生している
- 先進国ではライフスタイルの変化により食へのニーズは多様化し、食品加工会社には多様化するニーズへの対応が求められている

世界人口の推移

単位:十億人



世界の加工食品業界が迎つつある世界

- 世界の栄養不足人口は10億人を超過
 - “食物から摂取する熱量が、一定程度の強度の労働に従事した際の一定の体格の維持を前提として、国や民族ごとに算出される基準値よりも低い状態にある人々の数(FAO)”
- 穀物、大豆の国際価格は高水準で推移
 - 食料価格も中長期的に上昇する見込み
 - 穀物等の生産は特定国に集中
- 加工食品業界の発展には様々な不安要素
 - 開発途上国を中心とした人口の増加
 - 中国・インド等の経済発展
 - バイオ燃料の増加等による食料・農産物需給の逼迫
 - 供給面では収穫面積・単収の伸び悩み
 - 地球規模の気候変動の生産への影響
 (以上、農林水産省「世界の食料事情と農産物貿易の動向」より)
- 食のニーズの多様化
 - 健康志向、ベジタリアン、等
 - 輸入食品との競争が激化、高齢化の進展、人口減少、女性の社会進出、ライフスタイルの多様化等が背景
 (以上、農林水産省「食料・農業・農村白書」を参考に記載)

注: *1. 「先進国」: 日本、北アメリカ(中央アメリカ及びカリブ海を除く)、オーストラリア、ニュージーランド及びヨーロッパの国(地域) 「途上国」: 先進国を除く全ての国(地域)

出所: UN, World Population Prospects: The 2015 Revision、農林水産省「世界の食糧事情と農産物貿易の動向」「食料・農業・農村白書」

加工食品ビジネスによる先端事例紹介の枠組み

- ニーズ・嗜好の多様化の観点から、個別のニーズに対応できるカスタマイズ商品やターゲットを絞った商品が出てきた
- 栄養不足の解消の方向で、安定供給でき安価で栄養価の高い食品である次世代食が登場

世界の加工食品市場で起きつつあること

ニーズ・嗜好の
多様化

- 味覚感度の強弱や育った環境などにより、食に対する嗜好性は千差万別
- 食文化やライフスタイルの多様化により、個々人のニーズが多様化してきている
 - 宗教上の理由で食材に制限がある人や、菜食主義を掲げる人も
- 個食化が進行
 - 単身世帯、高齢世帯の増加

途上国における
栄養不足

- 世界の栄養不足人口は10億人を超過し、栄養不足の解消が世界における課題となっている
 - 特に蛋白質や脂質の摂取については、難しい状況である

事例紹介の枠組み

①カスタマイズ食品

②未充足ニーズを抱えた
ターゲットに絞った食品


③次世代食

SAMPLE版はここまでです。

続きは、業界チャネル **特集レポート** にてご覧ください。

『特集レポート』は有料コンテンツです。

詳細は次頁へ



『特集レポート』の一部をご紹介します！

業界ごとのトピックス・課題などへ踏み込んだ、最新トレンドを捉えたコンテンツです。

- ◆ 建設業界におけるロボット活用の現状と可能性
- ◆ 激変する建築資材流通
- ◆ 中古住宅流通政策の動向と国内リフォーム市場のトレンド
- ◆ 国内外におけるスマート農業の動向
- ◆ 海外における加工食品の最新事例
- ◆ 国内酒類メーカーの海外市場進出
- ◆ 食品スーパーの生き残り戦略
- ◆ 酒類通販に関する規制と大手企業の動向
- ◆ 飲食業界における多ブランド展開のKSF
- ◆ 海外における飲食デリバリービジネスの動向
- ◆ 医薬品開発へのビッグデータ活用
- ◆ 化粧品メーカーのオムニチャネル戦略
- ◆ 製紙業のポテンシャルを活かした新たな事業展開の可能性
- ◆ 有機EL関連市場の動向

他 **全80本**

『業界チャンネル』とは…

取引先・競合・見込企業の情報を集め、業界・企業の最新動向を簡単に取得し、営業戦略に活用できる情報収集分析ツールです。

全国200万社の企業情報と、その企業が自ら配信する公式なニュース（プレスリリース、決算情報）、企業が出展する展示会情報を掲載しています。新規営業先や、ベンチマーク企業をチェックするだけで、各情報をタイムラインに集約して表示し、最新の情報はメールで受取ることもできます。各情報は、取引先、見込、競合といった分類別に管理できるので、ビジネスシーンに応じて活用できます。（無料）

更に有料版では、最新の業界情報や企業の財務状況の詳細分析ができるコンテンツが利用できます！

有料 業界レポート

日本の全産業を業界どうしの関連やつながりを分かりやすく分類。各業界の指標に加え、業界内外の動向・政策などの業界に影響する外部要因も網羅した181本のレポートです。

[詳しくはこちら](#)

有料 企業ダッシュボード

約4,000社の最新の有価証券報告書、決算短信をグラフ化し、財務状況・財務分析をいち早く確認できます。また、各データはダウンロード可能です。

[詳しくはこちら](#)

無料会員～有料会員登録の流れ

1 下記URLをクリックして、『業界チャンネルTOP』画面へ

<https://b2b-ch.infomart.co.jp/>

2 『無料会員登録』ボタンをクリック



3 無料会員登録フォームに「あなたの情報」「会社情報」を登録

4 届いたメールのURLをクリック（会員登録完了）

5 『業界チャンネル』をクリック



6 『有料登録のお申込』ボタンをクリック



7 有料登録のお申込画面の詳細をご確認いただき、利用規約にチェック☑を入れ『送信する』ボタンをクリック

8 お申込完了です。引き続きレポートをお楽しみください